

# 「富士山登山鉄道構想」の進捗状況について

山 梨 県

## 1. 経緯

- 山梨県が設置した「富士山登山鉄道構想検討会」において、山梨県側五合目に至る交通システムの在り方を検討した結果、既存道路を活用したLRT（次世代型路面電車）整備を軸とする「富士山登山鉄道構想」がとりまとめられた（2021年2月）。
- 令和3年度は、学術委員会からの「富士山登山鉄道構想」に対する提言（以下「提言」）を踏まえ、計画段階HIA（遺産影響評価）の素案を作成し、遺産影響評価部会に協議を行った。
- 現状では、計画段階の遺産影響評価を行う状況にはないこと、遺産影響評価を行う前提について整理する必要があることなどが議論された。これを受け、前提の整理等をしばらく行うこととなった。

## 2. 進捗状況

- 令和5年度は、前提の整理として提言別紙「登山鉄道構想に対する遺産影響評価（HIA）の枠組（イメージ）」上段の基本計画（構想の具体化）における＜事業運営者の想定と官民の役割分担＞、＜技術的課題の検討・実証＞に着手した。
- 併せて提言（2）「本プロジェクトの実現に向けて、登山鉄道の必要性に関する十分な説明が必要である」との指摘に基づき、同年11月から地元市町村（富士吉田市、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町）への説明会を開始した。